

報告期間		ユーザー様名			S I 名・指導者名	
2006年4月1日( )から		B社			OFFICE-IGUCHI	
2006年4月30日( )まで					井口 一成	
製品の内容、製品種類数、製品の単価(最高・平均・最低など)						
自動車部品の製造 製品点数 500						
生産形態、工程の要素						
組み立て 機械加工 板金 プレス 溶接 塗装 メッキ 研磨 鋳物 鍛造 熱処理 実装、SMT 溶解 スリット 切断 溶断 成型 圧延 凝固 接着 食品加工 プラスチック加工 化学薬品 衣類(裁断・縫製・ホタ) 皮、ゴム、紙加工 織、編 印刷(除マニュアル等)・手書き 染色 エッチング その他( )						
指導種類	新規導入 バージョンアップ 再導入 その他( )					
今回指導回数	30回目～35回目					
TPiCSバージョン	TPiCS X Ver3.1					
オプション・DB	受注販売管理OP、					
アイテム件数	1782件	BOM	1742件	所要量計算	0回/月	製番展開 回/月
実績インプット日	120件/日	伝票発行	0回/月	伝票発行	0件/回	製番展開 件/回
出席者	生産管理PG責任者、製造部長、導入担当者、					
今回の指導目的						
【これまでの経緯】						
現在使用しているオフコン生産管理システムが老朽化したので新規に本格的な生産管理システムを検討した結果、TPiCSを導入することになった。						
売上予実績、購入実績管理、在庫管理、伝票発注、等の業務をシステム化したい。						
導入計画を作成し説明をして2005年6月スタートしました。						
運用イメージ図を作成して全体のイメージを理解してもらった。						
ひな形作成して基礎教育を行いTPiCSの機能理解を製造部長、TPiCS担当者に説明をした。						
マスターの作成をエクセルで行いTPiCSに登録、マスター整合のチェックをした。						
製造担当、アイテムマスター、製品構成、単価、得意先、売価、工程の標準時間、在庫一覧、等の各種マスターの整備をした。このマスター作成に多くの時間が掛かった。						
受注・出荷管理し日々の売上予実績管理を主体と使用中です。						
今月の目的						
受注計画よりMRP計算をして伝票発行をする。						
別領域を活用してシミュレーションを行う。						

経過（発言者と内容）

【4月の実施内容】

発言者： 生産管理 P G 責任者、製造部長、導入担当者、

購入実績と外作納品のインプット、出荷インプット、を日報でデータチェックし精度アップした。

別領域の設定と使用方法の説明をし、これを活用してシミュレーションを実施した。

テスト環境を利用して、受注計画より M R P 計算をして伝票発行をした。

**結 論**

**【所感】**

ひな形作成して基礎教育を行いTPiCSの機能理解までは計画に従い進めたが、マスター作成に多くの時間が掛かり、日々の売上予実績管理の運用までになっている。

まだ伝票発行関連のマスターに不備があり早急に対策をとる必要がある。

**【5月の予定】**

所要量計算を実施と伝票発行をする。

マスターの整備を継続する。

**検討事項・要回答事項・要継続審議事項**

事項		担当部署		期限	
事項		担当部署		期限	
事項		担当部署		期限	
事項		担当部署		期限	
事項		担当部署		期限	
事項		担当部署		期限	
事項		担当部署		期限	
事項		担当部署		期限	
事項		担当部署		期限	
事項		担当部署		期限	
事項		担当部署		期限	
次回開催日(予定)	次回開催場所(予定)	議事録作成日	議事録作成者		
		年 月 日( )			